

一日目(9月5日)

12:00

参加受付・スライド入力

13:00-15:30

特別講演: 「ナラティブ・コミュニケーションとしてのヘルスケア」 講師: 齋藤清二先生(立命館大学教授)
 シンポジウム: 「コミュニケーションと医療の関係を改めて考える」
 パネリスト: 齋藤清二(立命館大学教授)
 栗原幸恵(がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科 心理療法士)
 ファシリテーター: 宮原哲(西南学院大学教授)

口演(会場A)

口演(会場B)

司会: 杉本なおみ(慶應義塾大学看護医療学部)

司会: 高永茂(広島大学大学院文学研究科)

15:40-17:40

発表者	所属(筆頭著者)	演題	発表者	所属(筆頭著者)	演題
孫大輔・大石愛	東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター	家庭医は在宅患者の看取りにおいてどのような葛藤や困難を経験しているか?	宮本圭子	京都大学医学コミュニケーション学	地域を基盤にしたゲノムコホート研究事業に関する一般市民の認識と態度
五十嵐 紀子	新潟医療福祉大学	介護サービスにおける「利用者本位」の多義性	奥原剛	東京大学大学院医学系研究科コミュニケーション学	やる気をも高める伝え方～健康医療情報の「説得力」を高める9つの原則: 文献レビュー～
池田光穂・西川勝・野村亜由美	大阪大学	心的外傷後成長における認知症コミュニケーションの可能性	戒田信賢・中山健夫	電通	～共創とコミュニケーションのチカラで健康課題を解決する～子ども虐待予防X映像のアクションリサーチ
網野薫菊	大阪市立大学文学研究科	認知症患者との会話におけるボライトネスーエビステティック・スタンスの違いと再フレーム化に着目して	岩城裕之	高知大学教育学部	言語聴覚士(ST)のための方言データベースの開発と評価

ポスターセッション

司会: 高山智子(国立がん研究センターがん対策情報センター)

17:50-19:20

原木万紀子	東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻 医療コミュニケーション学教室	医療コミュニケーションにおけるイラストレーションの効果的な活用方法の検討ー小学校高学年を対象にした簡易教材の作成と調査	河地美紀・山下麻衣・山崎古都・三好沙知・半谷眞七子・阿部恵子・毛利彰宏・野田幸裕・亀井浩行・末松三奈・安井浩樹・植村和正・曾田信子	名古屋大学	大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第2報)仮想的有能感との関係
孫大輔・平澤南波	東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター	プライマリケアで用いられる医学用語の医療者と市民・患者の認識ギャップ	山下麻衣・山崎古都・三好沙知・河地美紀・半谷眞七子・阿部恵子・毛利彰宏・野田幸裕・亀井浩行・末松三奈・安井浩樹・植村和正・曾田信子	名古屋大学	大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第3報)対人葛藤方略スタイルとの関係
吉田登志子、他	岡山大学	医療コミュニケーション教育に役立つ理論や概念とは何か	山崎古都・三好沙知・河地美紀・山下麻衣・半谷眞七子・阿部恵子・毛利彰宏・野田幸裕・亀井浩行・末松三奈・安井浩樹・植村和正・曾田信子	名古屋大学	大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第4報)ソーシャルサポートとの関係
三好沙知・河地美紀・山下麻衣・山崎古都・半谷眞七子・阿部恵子・毛利彰宏・野田幸裕・亀井浩行・末松三奈・安井浩樹・植村和正・曾田信子	名古屋大学	大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第1報)個人特性との関係			

19:30-21:30

懇親会(クロスプラザ2階、レセプションホール)

二日目(9月6日)

二日目(9月6日)						
8:30-10:30	口演(会場A)			口演(会場B)		
	司会:田口則宏(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)			司会:岩隈美穂(京都大学大学院医学研究科)		
	発表者	所属(筆頭著者)	演題	発表者	所属(筆頭著者)	演題
	今村かほる	弘前学院大学文学部	東日本大震災被災地における方言を中心としたコミュニケーションの問題と支援	池田理知子	国際基督教大学	小学校におけるフッ化物洗口の実施が問いかける健康・環境問題
	安林奈緒美	中部大学	対話的授業の実践 ―セルフナラティブの記述の試み―	田口空一郎	医療の質に関する研究会	ヘルスコミュニケーションの観点から見た「患者図書室」の分析
	竹田陽介	けやき坂クリニック	患者をファンにする外来診療コミュニケーション～患者満足度分析とリポート受診率～	土屋高康	慶応大学SFC政策・メディア研究所	事業者から見た電子母子手帳の有効性とヘルスコミュニケーションのあり方
奥野景子	医療法人社団都会渡辺西賀茂診療所 立命館大学応用人間科学対人援助学領域	省察的実践家のリハビリテーション実践 ―'呼応する身体'として在ること―	杉原正子	久里浜医療センター	ALS患者さんとご家族から見た病名告知、余命告知	
10:40 - 12:10	ポスターセッション					
	司会:石川ひろの(東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野)					
	徐淑子	新潟県立看護大学	インタヴェンション・マッピングを利用した行動科学教育の授業設計	河原克俊・孫大輔・伊賀博紀・林依子・夜久風由香・真庭弘樹・向裕文・西坂恵・外間皇代	イムス板橋リハビリテーション病院	脳卒中者とセラピストを対象にしたカフェ型ヘルスコミュニケーション「暮らしのカフェ」
	大戸敬之・大林泰二・長谷由紀子・田口則宏	広島大学大学院医歯保健学研究科歯科医学教育講座	研修歯科医のプロフェッショナルリズムとコミュニケーション	森田瑞樹・富井美子・矢島弘士	岡山大学大学院医歯薬学総合研究所	がん患者による治療の記録は何の役に立っているのか
	清田友里・高橋洋子・小坂橋浩美・多田美千代・福吉潤・山本精一郎	国立がん研究センターがん予防・検診研究センター	ソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診勧奨資材による自治体での受診勧奨の実践	森田裕介・尾崎新平	関西電力病院リハビリテーション科	回復期リハビリ病棟における情報管理とカンファレンス司会職種の関連
加藤美生	東京大学大学院医学系研究科コミュニケーション学	保健医療課題に関するテレビドラマの効果研究～文献レビューからの考察～	岡本左和子・尾花尚哉・濱田未来・今村知明	奈良県立医科大学健康政策医学講座	がん患者の治療前後の状況の変容に伴った支援に関する研究	
12:30-13:00	口演・ポスター表彰					